

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105743
法人名	有限会社 媛のくに
事業所名	グループホーム 媛のくに
所在地	松山市枝松3丁目1-23
自己評価作成日	平成22年1月3日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

近隣にスーパーや食べ物屋さんも多く、積極的に出掛けることで、地域に溶け込めるようにしている。
また、トイレでの排泄を基本とし、日中の紙パンツ等の使用はせず、トイレ誘導行っている。
公文学習療法を取り入れ、積極的に認知症へアプローチしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

お部屋にポットがあり、お部屋でコーヒーを飲まれる方もある。ご家族の写真やご本人の花嫁姿の写真を飾っておられたり、好きな歌手のポスターを貼って、CDを聴かれる方もある。
近隣に住む大家さんの協力もいただきながら、地域との交流に取り組まれている。昨夏の夏祭りは、地域の子供会に呼びかけ、昨年より規模を縮小したアットホームな雰囲気、利用者が楽しめるようにされ、利用者子どもたちがじゃんけんをして、利用者から景品をプレゼントするような企画もあり、子ども達とのふれあいに利用者の笑顔も多く見られたようだ。
管理者は、職員の意見を聞きながら取り組みをすすめておられる。「買物等に出かけたい」と言われる利用者の声を受けて、職員は「午前と午後に分けて食材の買い出しに行けば、利用者が外に出る機会が増えるのではないかと提案され、実践されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 媛のくに

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 浜本小夜子(毛利玲子)

評価完了日 年 月 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を共有する為目触れる場所に掲示しその人らしい当たり前の生活が送れるように実践している。	
			(外部評価)	
			事業所では「地域の中で、その人らしく、当たり前の、普通の生活が送れるよう、お手伝いします。」と理念に揚げて取り組んでおられ「利用者とどんどん地域に出かけていきたい」と話しておられた。又「笑顔や笑い声の絶えない、居心地の良い家庭づくり」を目指しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域の行事、防災訓練などに参加し事業所の夏祭り、運営推進会議に参加して頂いています。	
			(外部評価)	
			近隣に住む大家さんの協力もいただきながら、地域との交流に取り組まれている。昨夏の夏祭りは、地域の子供会に呼びかけ、昨年より規模を縮小したアットホームな雰囲気、利用者が楽しめるようにされ、利用者と子どもたちがじゃんけんをして、利用者から景品をプレゼントするような企画もあり、子ども達とのふれあいに利用者の笑顔も多く見られたようだ。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議などで、参加して頂いた時には話し合い理解や支援の方法を地域の人に活かしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>2 ヶ月に 1 回開催し事業所の活動報告を行い参加者から意見や質問を聴きサービスの向上に努めている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>運営推進会議に参加して頂いたり意見や相談にのって頂いたりして協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>ミーティング時に身体拘束になっていないか職員間で話し合い理解している。夜間以外は、施錠しないケアに取り組んでいる。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議に出席いただき事業所の取組みを知ってもらっている。</p>	
			(自己評価)	
			<p>管理者は、職員の気になる言葉や対応がみられた際にはその都度、身体拘束をしないケアの大切さを伝えておられる。ベッドからずり落ちるような方には、ご家族と相談して、ベッドの足もとにマットを敷いて対応をされたり、又、這ってご自分の意思で動かれる方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修に参加し報告書、ミーティングなどで職員が理解出来るようにしている。日頃から、身体のチェック、言葉などにも注意し防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者は勉強会に参加し必要がある場合には支援出来るようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前には自宅を訪問したりホームを見学してもらい契約時には起こりうるリスク、重度化や看取り、医療体制の実情などを説明し理解、納得をはかっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年に1回家族会を設け食事をしながら気軽に意見や要望を持てる場を設けている。	
			(外部評価) ご家族が来られた際には、居室でご本人とゆっくり過ごされる方もある。クリスマスにはご家族の方がケーキを焼いて来て下さったり、ご家族がパソコンで作ってくださった利用者の写真入りカレンダーをユニットの入り口や各居室にかけておられた。今年度は、3月に家族会を開催する予定となっていた。ホーム便りの発行をお休みしていたが、今後再開する予定となっていた。	サービスを利用する側であるご家族のご意見を引き出し、事業所のサービスの質向上につなげていくためにも、事業所側からの報告の工夫や、ご家族への働きかけや質問等の工夫を重ねていかれてほしい。たとえば、事業所の食事支援について具体的にご意見をうかがったり、ご家族の不安や心配ごと等をゆっくり聞き取るような機会も作ってはどうか。さらに、ご家族同士の交流やご家族と他利用者が交流する機会も作っていかれてはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>月1回カンファレンス、申し送り時などを利用して意見や提案を聞く機会を設けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は、職員の意見を聞きながら取り組みをすすめておられる。「買物等に出かけたい」と言われる利用者の声を受けて、職員は「午前と午後に分けて食材の買い出しに行けば、利用者が外に出る機会が増えるのではないか」と提案され、実践されている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>代表者も頻繁に来所し職員と交流を図りながら個々の努力、意見や悩みを把握するように努めている。</p>	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>外部研修の希望を設け優先的にシフト表に取り入れ受講や研修報告にて職員の意欲の向上に努めている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>県、市の社協、グループホーム協議会などが主催する研修会に積極的に参加し交流を図りながらサービスの質の向上に努めている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>事前面談で本人や家族の意見や要望をよく聞き安心を確保する為コミュニケーション作りに努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>訪問時に本人、家族それぞれの話を伺い信頼関係作りに努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>話をよく聞き何を必要としているのか、状況把握に努めている。他のサービス利用も紹介している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の生活の中でアドバイスを受たり、料理、洗濯、掃除、買い物などを手伝ってもらったり、教えてもらったりして共に支え合う関係作りをしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>訪問時には居室にてゆっくりと家族と過ごして頂いている。年に1回家族会を設けホームと一緒に食事をする時間を過ごして頂いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>外泊、面会、などは家族の意見を踏まえて自由に出来るようにしている。文通を長く続けられている方もおられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族と温泉やドライブ等に出かける方もある。友人宛に書いた手紙を職員がポストに出しに行かれることもある。ご家族の写真を居室に飾り、ご家族の来訪時や職員と思い出話をされる方もいる。</p>	<p>さらに、現在、利用者は希望等を話してくださる方も多いようである。事業所では、看とり支援の経験を踏まえて、ご本人の思いや希望を支援に採り入れていきたいと考えておられる。ご本人、ご家族とも相談しながら、利用者一人ひとりの暮らしが豊かになるような取り組みも続けていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) スタッフが入居者同士の関係を把握し見守っていたり、トラブルの間に入りたりして、コミュニケーションをとり孤立しないように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院や他施設に移られた方には面会に行ったり、相談や話し相手になっている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の思いや要望を伺い意向の把握に努めている。困難な場合には本人の言動から思いを察し検討するようにしている。	
			(外部評価) センター方式のアセスメントから数項目を抜粋して、利用者の意向を留めておられる。又、入居時、ご家族にセンター方式の書式に記入していただくこともある。職員は、夜間時や食事時等は特にゆっくり利用者のお話を聞ける時のようである。	利用者個々が発したことは等の背景にあるご本人の思いや意向の把握に努めていかれてほしい。今後、公文学習療法も再開する予定になっており、取り組みを通じて利用者のことをさらに知りたいと考えておられる。利用者個々のその人らしい暮らしを支えるために、必要なアセスメントを充実していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から聞き取りを行いアセスメントシートに記入して頂きサービス利用経過の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日常生活の観察、経過記録、申し送り時などで、ミーティングを行い支援内容の検討を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族や本人の意見、要望を聞きカンファレンスを行い介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の希望等を聞き取り「釣りがしたい」「キャッチボールがしたい」「外出したい」等の希望を把握しておられた。又、ご家族には、介護計画を送付する際にご意見を書いてもらえるよう用紙を同封して、お返事をいただくようにされている。</p>	<p>さらに、ご家族から具体的なご意見や要望、協力がいただけるような働きかけ等も期待される。今後、職員個々が介護計画にかかわれるように、勉強をすすめていきたいと考えておられた。ご本人やご家族とも話し合いながら、暮らしが豊かになるような計画作りや、ご本人の生活が良くなるような計画の作成に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の経過記録により職員間の情報共有を行っている。重要なことには、マーカーで記している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>変化するニーズに対応しその都度、職員間で話し合いを行い柔軟な支援サービスに取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>公民館活動の運動会や夏祭りに参加させてもらっている。年2階の防災訓練では利用者、職員共に研修を受けている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時、本人、家族と相談し、かかりつけ医を決めて いる。提携病院は週1回の医師の往診と看護師長の訪 問にて対応している。受診前や受診後、家族に状況報 告をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>系列病院の医師の往診があり、いざという時には、い つでも診てもらえるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>提携病院の看護師に定期的に訪問して頂き健康管理、 医療面での相談、助言などの対応を行ってもらって いる。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時には、本人の情報を医療機関に提供し職員が見 舞い、回復状況などを速く知り、速やかな退院支援に 結びつけている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の気持ちを重要視して医師、職員と連携を 図り安心して、最後を迎えられるように方針を共有し 支援に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居時には、最期まで事業所で支援できることをご本 人やご家族に伝えておられる。利用者がいざという時 には対応できるよう、年一回、救急救命講習を受講さ れている。看とりの経験をもとに、夜間の見回り時、 ご本人の状態を詳しく見る必要があるということを感じ られ、実践されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			年1回消防署からの救命救急法を定期的に受けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			年2回利用者と共に火災避難訓練を行い1回は夜間を想定して実施し近隣の方も参加して頂き誘導、反省を行っている。	
			(外部評価)	
			スプリンクラーを設置されている。消防署の協力を得て、計画を立てて、非常階段等を利用した避難訓練を実施された。散歩に行かれる近くの公園が地域の避難場所となっている。地域の他グループホームと連携して、いざという時には受け入れてくれるようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりのプライドや個性を尊重した声掛けや対応を心掛けている。	
			(外部評価)	
			職員は、ご本人の気持ちを大切にして、何事も無理強いしないことを心がけておられる。又、笑顔に心がけて共感することに努めておられ、時に、職員は利用者へ家庭や子育ての相談をしてアドバイスをもらうこともあり、ともに生活する姿勢で取り組まれている。おむつ等の介護用品は押し入れ等に収納されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			利用者の好みや希望などを聞き支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりのペースや体調に合わせた支援に努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自己決定が困難な方には、職員と一緒に服を選んだり、お化粧をしたりして、身だしなみの支援を行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者個々の好みを聞き1/週のリクエストメニュー、1/月の外食また、野菜切り、盛り付けや配膳食器洗いなど、職員と一緒にしている。	
			(外部評価) 食材の買い出しに利用者で行かれて、スーパーで利用者と一緒にメニューを決めることも多い。いりこや昆布等の天然だしで料理をされている。義歯の調整に努めておられるが、外した方が食欲が出るような方もあるようだ。利用者個々で調理や洗い物等、分担を決めて行っているユニットもあった。食器を下げる方は、皆が食べ終わるのを待って、種類ごとに重ねてお盆に乗せ下げておられた。その際、お茶がたくさん残っている方に「もう少し飲んどく？」と声をかけられ、その方は「ありがとう」と、飲まれている様子が見えた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の水分量、食事量を記録し時間でチェックを行いながら摂取不足の早期発見に努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の声掛けによる口腔ケア、1/週の義歯消毒を行っている。 定期的に歯科に通院しデンタルクリーニングを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄のパターンを把握し食事の前後の時間誘導でトイレでの排泄に取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			トイレで排泄できるように誘導をされている。ゆっくりトイレに座る方もあり、職員はひざかけをかけたリ、背もたれが痛くないようにカバーをする等、配慮されている。トイレに行く利用者の方が、隣の方に小声で「トイレに行ってきます」と小声で言ってから席を立たれる様子が見られた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			水分摂取、乳製品、野菜などを毎日の食事に取り入れたいり体操や散歩にて、適度な運動により排便を促している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			利用者の好みや希望などを聞き支援している。希望を聞きながら入浴支援を行っている。入浴剤などで、季節感を楽しんで頂けるように支援しています。	
			(外部評価)	
			お風呂がお好きな方が多く、ご家族と温泉に出かける方もある。2階は、一般の家庭用浴槽で一番に入る方が入浴剤を選んでおられる。肌の弱い方には、皆と別に敏感肌用全身シャンプーを使用しておられた。1階は、浴室が広く、車椅子で入浴ができる特殊な浴槽が設置されている。管理者は、家庭的な環境作りという点から工夫をしたいと話しておられた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			個々のペースに合わせて居室やフロアで個別に休息を取っています。また、安眠の為、足浴し気持ちよく眠るように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 定期薬は医師の指示のもと服薬し名前の確認を行いながら手渡しにより安全を確認している。 臨時薬は処方箋を把握理解している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の力に応じた役割分担により、日課として取り入れている事で、張りのある生活が過ごせるように支援している。お誕生日には本人の行きたい所へ職員と1対1で外出し楽しんで頂いている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や買い物にて、季節感を肌で感じて頂き遠出などのお出掛けなどには、家族の方も一緒に同行し協力して頂いている。	
			(外部評価) 外出がお好きな方も多くあり、お化粧品をして出かける方もある。又、寒い時期にも、暖かくして出かけるようにされている。お好きな歌手のコンサートやディナーショーにも職員が同行して楽しまれた。又、日常的にも食材の買い出しや散歩、畑や庭の手入れ等にも出ておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者一人ひとりの力や希望に応じて本人の金銭管理の支援をしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の希望があればいつでも掛けられるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>外の景色が窓越しに見え玄関やリビングに花を飾り季節感を取り入れている。 湿度を保つ為に炭を置いたり洗面台に水を張ったりして、居心地よく過ごせるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の窓から道路を行きかう車や人、畑等が見え、日々の変化がおしゃべりするきっかけになっている。 廊下を分けて台所と居間にテーブルがあり、利用者の食事する速さや関係性等も踏まえて、座る位置を決めておられた。ソファに座って週刊誌を読まれている方や、テーブルでオセロに夢中になっておられる方も見られた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングのソファで気の合った方同士でおしゃべりをしたりテレビを観たりオセロ、パズルなどをされて、楽しまれている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室には使い慣れた寝具・タンス・椅子などを持ち込み本人が居心地よく過ごして頂けるようお願いしています。また、家族の方が作って下さるお手製の写真入りのカレンダーを飾ったりしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>畳を敷いておられる方やご家族が来られた際に座って過ごされるソファを置いておられる方もあった。お部屋の出窓にはお花の植木鉢を置いておられたり、ポットやコーヒーセットがあり、居室でコーヒーを飲まれる方もある。ご家族の写真やご本人の花嫁姿の写真飾っておられたり、好きな歌手のポスターを貼って、CDを聴かれる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下での車椅子が離合出来る幅の確保や廊下、浴室、トイレの手すりの設置により安全に自立した生活が送れるように工夫している。</p>	